

【 社会福祉学科 2023年度入学生 】

生活の質の向上に必要な基礎理論と技術について教授・研究し、幅広い教養及び深い専門的知識を修得することで、福祉の向上と社会の発展に寄与できる人材を養成することを目的とします。そのため、社会福祉学科では、以下の3コースを設置しています。

(1) 介護福祉コース

介護の学習を基礎として、介護現場でのレベルアップにつながる実践力を学習するコースです。従来の介護福祉士の役割に加え、認知症ケアや医療的ケアなど一人ひとりの心身の状態に応じた介護や、災害時の介護、介護施設の運営・管理など社会的貢献の実践力を学びます。

教育のねらい

- ①介護の基礎と応用を習得し、認知症や身体の機能障害をもつ高齢者などの介護支援ができる力をつけます。
- ②介護の必要となるおそれのある方や、障がいが重度化していく方に対して、介護予防や医療的ケアができる力をつけます。
- ③高齢者や障がい者などの地域生活のあり方について考え、その日常の環境づくりを図るとともに、災害時の介護支援ができる力をつけます。

(2) 美・デザインコース／医療事務コース

この2つのコースでは、職業人としての実践的な就業力を身につけることを目指します。美・デザインコースでは、「生活の豊かさや美しさ」の基本を学び、幅広い人々の生活や人生の質の向上を演出する実践力を身につけます。医療事務コースでは、医療事務や調剤事務など、現場でいきる事務能力を身につけ、一生を支える資格取得を目指します。

教育のねらい

- ①生活の基本にある健康や美、人とのつながりに関する基礎を学び、人生における生活の豊かさを深く理解して活動できる力をつけます。
- ②ネイルやブライダルなど、生活の中の美や豊かさを演出する基礎知識や技術を学び、実践する力をつけます。
- ③医療事務などの実務力や、有給インターンシップなどの職業体験を通して、やりたいことを自分の仕事につなげる力をつけます。

(3) 卒業要件

本学の社会福祉学科を卒業するためには、次の一覧表に示した条件を充たさなければなりません。

科目種別	単位数	必修科目
基礎科目	16単位以上	キリスト教概論 (2単位)
		基礎ゼミナール (2単位)
専門科目	50単位以上	地域総合演習 (2単位)
計	66単位以上	

(4) 資格について

介護福祉コース

介護福祉士受験資格
社会福祉主事任用資格
レクリエーション・インストラクター
普通救命講習修了証
リフレクソロジスト (本学認定資格)

美・デザインコース/医療事務コース

ネイリスト検定3級 ※
医療事務 ※
調剤事務管理士 ※
歯科助手
リフレクソロジスト (本学認定資格)
接客サービスマナー検定 ※
その他、ビジネス系資格

※の資格取得には、外部団体の検定等の合格が必要になります。

これらの資格を取得するには、卒業単位とは別に取得しなければならない科目があります。科目表やオリエンテーションでの説明に注意し、間違えないように履修して下さい。なおこのうち、「レクリエーション・インストラクター」の関連科目を履修するには、別途履修料が必要です。詳細は、オリエンテーションで指示します。

以上の資格の他、社会福祉学科では、関連授業の開設や本学シティカレッジの講座受講により、次の資格の取得を支援しています。

福祉住環境コーディネーター (2級・3級) → 関連授業「高齢者と住まい」
介護保険事務管理士 (ケア・クラーク) → 関連授業「介護保険事務管理論」
ドックケアセラピスト → リラクゼーション・ケアⅠ+シティカレッジ講座

(5) 介護実習について

介護福祉士受験資格を取得するためには、資格の必修となっている介護実習を履修し、単位を修得しなければなりません。本学では「将来、介護福祉士としての望ましい資質をもつと認められた者」にのみ、実習への参加を認めています。

ここでは、みなさんが実習に参加できる必須条件を掲げます。日頃から真剣に学習に取り組み、実りある実習につながるよう心がけましょう。

【実習参加の必須条件】

- ① 所定の期日までに、実習に関する諸手続を完了していること。
- ② 実習費が所定の期日までに納められていること。
- ③ 講義などへの出席が順調で、かつ学生生活全般に対する積極的な意欲が充分認められること。
- ④ 「介護総合演習」は全出席を原則とする。
- ⑤ 各実習において次の履修条件を充たしていること。

【介護実習に関する履修条件】

実習科目	各実習が実施されるまでの期間に3分の2以上出席していなければならない科目	各実習が実施されるまでの期間に5分の4以上出席していなければならない科目
介護基礎実習 地域介護実習	卒業要件科目の介護福祉士資格取得に関わる必修科目のうち、右記を除いた1年次で開講される全ての授業科目	生活支援技術(介護)Ⅰ 介護総合演習Ⅰ
介護過程実習	卒業要件科目の介護福祉士資格取得に関わる必修科目のうち、右記を除いた1年次で開講される全ての授業科目	生活支援技術(介護)Ⅱ 介護過程Ⅱ 介護総合演習Ⅱ
介護総合実習	卒業要件科目の介護福祉士資格取得に関わる必修科目のうち、右記を除いた2年次で開講される全ての授業科目	生活支援技術(介護)Ⅲ 介護過程Ⅲ 介護総合演習Ⅲ

※実習に関する規程は、大学ホームページに掲載されていますので確認してください。

(6) 介護福祉士受験資格について

介護福祉士の資格を得るためには、介護福祉士国家試験を受験しそれに合格しなければなりません。

本学科では介護福祉士受験資格を取得するため、以下の要件を全て満たすことが求められます。

【介護福祉士受験資格の取得要件】

介護福祉士の受験資格を得るためには、次の要件を原則として全て満たさなければなりません。

- ① 介護福祉士全国模擬試験を受験していること。試験の対策講座に出席していること。
- ② 指定された試験の対策講座に出席していること。
- ③ 学科会議において介護福祉士としての資質があると認められた者。
- ④ 「介護福祉士国家試験対策講座」は全出席を原則とする。

(7) 中部学院大学への編入について

社会福祉学科からは、併設する中部学院大学への3年次編入が可能です。

この編入について、中部学院大学では単位認定制度を設けています。これは、短大で修得した科目の単位を大学の卒業単位として認めるもので、編入後に修得すべき科目数を軽減し、無理なく資格の取得などができるよう配慮しています。

この単位認定は、大学を卒業するための卒業必修科目についても行われます。ただし、認定はそれまでにみなさんが修得した科目のうち、大学で開講される科目と類似した科目の場合にのみ可能です。つまり、中部学院大学の卒業必修科目に類似した科目を短大時代に修得しておけば、編入後の負担が少なくなるということです。

下記の表は、中部学院大学卒業必修科目のうち、みなさんが短大で修得でき編入する際に単位認定される可能性が高い科目との照らし合わせをした表です。編入を考えている方は、なるべく短大時代にこれらの科目を修得されることをお勧めします。

<人間福祉学部へ編入する場合>

中部学院大学 卒業必修科目	中部学院大学短期大学部開講科目 (認定される可能性が高い科目)
キリスト教概論Ⅰ	キリスト教概論
言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)
言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)
人間福祉入門	(該当科目がないため編入後に修得します。)
人間福祉基礎演習Ⅰ	基礎ゼミナール
人間福祉基礎演習Ⅱ	地域総合演習 / 専門ゼミナール
人間福祉専門演習Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
人間福祉専門演習Ⅱ	

基礎科目 (社会福祉学科)

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンバール	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				介護福祉士	備考
											1年次		2年次			
											前期	後期	前期	後期		
人間と 初級教	3	1	1	2	1	1	0	1	2	講義	◎					
	3	1	1	2	1	1	0	2	2	講義		○		○		
	3	1	1	2	1	1	0	3	2	講義		○		○		
社会と 文化	3	1	2	2	1	1	0	6	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	0	7	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	0	8	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	6	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	0	2	2	講義	○ ◎				介護：人間と社会	
	3	1	2	2	1	1	0	4	2	講義	○	○	○	○		
	3	1	2	2	1	1	2	0	2	講義					未開講	
	3	1	2	2	1	1	0	9	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	0	3	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	0	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	7	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	0	5	2	講義	○	○	○	○		
	3	1	2	2	1	1	1	8	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	1	1	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	2	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	3	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	4	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	1	9	2	講義		○		○		
	3	1	2	2	1	1	1	5	2	講義	○		○			
	3	1	2	2	1	1	2	1	2	講義		○				
	3	1	2	2	1	1	0	1	2	講義	高大連携単位互換科目					
	3	1	3	2	1	1	0	2	1	演習	○				留学生科目	
	3	1	3	2	1	1	0	1	1	演習		○			留学生科目	
3	1	4	2	1	1	0	1	1	演習			○		留学生科目		
3	1	4	2	3	1	0	2	1	演習				○	留学生科目		
3	1	5	2	2	1	0	3	2	演習	○				留学生科目		
3	1	5	2	2	1	0	7	2	演習				○	留学生科目		
自然の 理解	3	1	5	2	2	1	1	2	2	講義	○		○			
	3	1	5	2	2	1	1	4	2	講義	○ ◎				介護：こころとからだのしくみ	
健康・入 り科学	3	1	5	2	2	1	0	4	2	講義	○	○	○	○		
	3	1	5	2	2	1	0	8	1	実技	○	○	○	○		
言語と 文化	3	1	5	2	2	1	0	5	1	演習	○					
	3	1	5	2	2	1	0	9	1	演習		○				
	3	1	5	2	2	1	0	1	1	演習			○		未開講	
	3	1	5	2	2	1	0	6	1	演習				○	未開講	
	3	1	5	2	2	1	1	0	1	演習	○					
	3	1	5	2	2	1	1	3	1	演習		○				
	3	1	5	2	2	1	1	5	1	演習	○					
3	1	5	2	2	1	0	2	1	演習		○					

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ンリ パ ー ル	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				介護福祉士	備考
											1年次		2年次			
											前期	後期	前期	後期		
言語と文化	3	1	5	2	2	1	1	☆海外研修（異文化交流）	2	演習	○	○			CAP対象外	
	3	1	5	2	2	1	1	☆海外短期留学Ⅰ	2	演習	○	○			CAP対象外	
	3	1	5	2	2	1	1	☆海外短期留学Ⅱ	4	演習	○	○			CAP対象外	
基礎演習	3	1	6	2	2	1	0	基礎ゼミナール	2	演習	◎		◎		介護：人間と社会	

1. 履修上の注意

- 1) 基礎科目より16単位以上修得すること。
- 2) ◎(必修)は、卒業や資格取得のために必ず修得しなければならない単位である。
- 3) ☆は、大学・短大部共通科目を示す。

2. 大学との共通科目について

中部学院大学と中部学院大学短期大学部の両学生は、一部の授業科目を共に受講することができます。それらの科目を、「共通科目」と呼びます（開講科目表の☆印参照）。共通科目の授業科目名は、大学・短大部で若干違うことがあります。時間割・授業科目コード表などでは、大学の科目名で表記されていますので、下記の表をもとに短大部の科目名と読み替えて対応して下さい。

なお、共通科目でも受講者数の関係で学科やクラスなどが限定されている科目があります。時間割を確認し、各自設定された時間に受講して下さい。

短期大学部科目名	単位数	大学科目名	単位数
キリスト教概論	2	キリスト教概論Ⅰ	2
情報活用論	2	情報活用論Ⅰ	2
身体による表現活動(スポーツ実技)	1	身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)	1
日本国憲法	2	日本国憲法Ⅰ	2
法学	2	法学Ⅰ	2

専 門 科 目 (社会福祉学科)

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ シリアル ナンバー	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				介護福祉士	備考
											1年次		2年次			
											前期	後期	前期	後期		
人間と社会	2	2	1	3	1	1	0	2	社会福祉の基礎	2	講義	○			◎	
	2	2	1	3	1	1	0	1	人間関係とコミュニケーション	2	講義	○			◎	
	2	2	1	4	1	1	0	3	社会保障論	2	講義			○	◎	
	2	2	1	5	2	1	0	4	地域総合演習	2	演習			◎	◎	
介護	2	2	2	3	1	1	0	1	介護福祉論Ⅰ	2	講義	○			◎	
	2	2	2	4	1	1	2	1	介護福祉論Ⅱ	2	講義			○	◎	
	2	2	2	3	1	1	1	5	介護の基本A(生活文化と地域社会)	2	講義		○		◎	
	2	2	2	3	1	1	0	6	介護の基本B(予防と運動学)	2	講義	○			◎	
	2	2	2	3	1	1	2	2	介護の基本C(リハビリメント)	2	講義			○	◎	
	2	2	2	3	1	2	1	6	介護の基本D(健康管理)	2	講義		○		◎	
	2	2	2	3	2	2	0	7	介護コミュニケーション技術Ⅰ	1	演習	○			◎	
	2	2	2	4	2	2	0	8	介護コミュニケーション技術Ⅱ	1	演習	○			◎	
	2	2	2	3	2	2	0	2	生活支援技術(介護)Ⅰ	3	演習	○			◎	
	2	2	2	3	2	2	0	9	生活支援技術(介護)Ⅱ	2	演習	○			◎	
	2	2	2	4	2	2	1	7	生活支援技術(介護)Ⅲ	2	演習		○		◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	3	2	2	1	8	生活支援技術A(栄養・調理)	1	演習		○		◎	
	2	2	2	3	2	2	1	0	生活支援技術B(住居・被服)	1	演習	○			◎	
	2	2	2	3	2	2	1	1	生活支援技術C(リハビリテーション)	1	演習	○			◎	
	2	2	2	3	1	2	0	3	介護過程Ⅰ	2	講義	○			◎	
	2	2	2	4	1	1	1	4	介護過程Ⅱ	2	演習	○			◎	
	2	2	2	4	2	2	2	4	介護過程Ⅲ	2	演習		○		◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	3	2	1	0	4	介護総合演習Ⅰ	1	演習	○			◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	3	2	1	1	2	介護総合演習Ⅱ	1	演習	○			◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	4	2	2	1	9	介護総合演習Ⅲ	1	演習		○		◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	4	2	2	2	3	介護総合演習Ⅳ	1	演習			○	◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	2	5	4	1	0	5	介護基礎実習 地域介護実習	2	実習	○			◎	介護福祉士資格希望者のみ
2	2	2	5	4	1	1	3	介護過程実習	4	実習	○			◎	介護福祉士資格希望者のみ	
2	2	2	5	4	2	2	0	介護総合実習	4	実習		○		◎	介護福祉士資格希望者のみ	
こころとからだのしくみ	2	2	3	3	1	1	0	3	発達と老化の理解A	2	講義	○			◎	
	2	2	3	3	1	1	0	1	発達と老化の理解B	2	講義	○			◎	
	2	2	3	4	1	2	0	4	認知症の理解A(医学)	2	講義	○			◎	
	2	2	3	4	1	2	0	8	認知症の理解B(生活支援と制度)	2	講義		○		◎	
	2	2	3	3	1	2	0	5	障害の理解A(身体障害)	2	講義		○		◎	
	2	2	3	3	1	2	0	6	障害の理解B(知的・精神障害)	2	講義		○		◎	
	2	2	3	3	1	1	0	2	こころとからだのしくみA	2	講義	○			◎	
	2	2	3	3	1	2	0	7	こころとからだのしくみB	2	講義		○		◎	
医療的ケア	2	2	4	3	1	2	0	1	医療的ケアA	2	講義			○	◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	4	4	2	2	0	2	医療的ケアB	1	演習			○	◎	介護福祉士資格希望者のみ
	2	2	4	4	2	2	0	3	医療的ケアC	1	演習			○	◎	介護福祉士資格希望者のみ

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ンパ ール		授業科目	単位数	授業形態	配当学期				介護福祉士	備考
												1年次		2年次			
												前期	後期	前期	後期		
その他	2	2	5	5	1	1	0	1	災害介護	1	演習	○					
	2	2	5	7	1	2	0	1	高齢者と住まい	2	講義			○			
	2	2	5	7	1	2	0	4	介護保険事務管理論	2	講義			○			
	2	1	5	7	2	2	0	2	リラクゼーション・ケアⅠ	1	演習		○				履修人数の制限あり
	2	1	5	6	2	2	0	5	リラクゼーション・ケアⅡ	1	演習			○			未開講
	2	2	5	6	1	2	0	6	障がいがある子どもの生活支援	2	講義				○		
	2	1	5	5	4	3	0	1	職業体験Ⅰ	2	実習	○					
	2	1	5	5	4	3	0	2	職業体験Ⅱ	2	実習	○					有給インターンシップ
	2	1	5	5	4	3	0	3	職業体験Ⅲ	2	実習	○					
美・デザイン、医療事務コース専門科目	2	3	2	3	1	1	0	1	美の健康科学Ⅰ	2	講義	○					未開講
	2	3	2	4	1	1	0	2	美の健康科学Ⅱ	2	講義	○					未開講
	2	3	2	3	1	1	0	3	美の表現活動Ⅰ（音楽・ダンス）	1	演習	○					
	2	3	2	4	1	1	0	4	美の表現活動Ⅱ（音楽・ダンス）	1	演習	○					
	2	5	1	3	1	1	0	1	仕事とマナーⅠ	2	講義	○					
	2	5	1	4	1	1	0	2	仕事とマナーⅡ	2	講義	○					
	2	5	1	4	1	2	0	1	ビジネス表現スキルⅠ	2	講義		○				
	2	5	1	4	1	2	0	2	ビジネス表現スキルⅡ	2	講義			○			
	2	5	7	3	1	2	0	3	現代マネジメント研究	2	講義		○				
	2	4	4	3	1	2	0	1	医療と法	2	講義		○				
	2	5	1	3	1	1	0	5	言語コミュニケーションⅠ	2	講義	○					
	2	5	1	3	1	1	0	6	言語コミュニケーションⅡ	2	講義		○				
	2	5	1	3	1	1	0	3	非言語コミュニケーション	2	講義		○				
	2	5	6	3	2	1	0	1	SNS活用論Ⅰ	2	講義	○					
	2	5	6	4	2	1	0	1	SNS活用論Ⅱ	2	講義	○					
	2	5	6	3	2	2	0	1	映像プレゼンテーションⅠ	2	講義		○				
	2	5	6	4	2	2	0	1	映像プレゼンテーションⅡ	2	講義			○			
	2	3	3	7	2	1	0	3	ネイルケアⅠ	1	演習	○					
	2	3	3	7	2	1	0	4	ネイルケアⅡ	1	演習	○					
	2	5	7	6	1	1	0	1	プライダルマネジメントⅠ	2	講義	○					
	2	5	7	6	1	2	0	1	プライダルマネジメントⅡ	2	講義		○				
	2	3	2	4	1	2	0	7	所作表現論	2	講義			○			
	2	4	5	7	1	1	0	1	医療事務Ⅰ	2	講義	○					
	2	4	5	7	1	1	0	3	医療事務Ⅱ	2	講義	○					
	2	4	5	7	1	1	0	4	医療事務Ⅲ	2	講義		○				
	2	4	5	7	2	1	0	5	医療事務演習Ⅰ	1	演習	○					
	2	4	5	7	2	1	0	6	医療事務演習Ⅱ	1	演習	○					
	2	4	5	7	2	1	0	7	医療事務演習Ⅲ	1	演習		○				
	2	4	5	7	1	2	0	2	歯科医療事務Ⅰ	2	講義		○				
	2	4	5	7	1	2	0	8	歯科医療事務Ⅱ	2	講義			○			
	2	4	5	7	2	2	0	9	歯科医療事務演習Ⅰ	1	演習		○				
	2	4	5	7	2	2	1	0	歯科医療事務演習Ⅱ	1	演習			○			
2	4	5	7	2	1	0	8	歯科助手実践の基礎	2	講義	○						
2	4	5	7	3	1	0	1	歯科助手実習	1	実習	○						
2	4	5	7	3	1	0	2	歯科助手実習指導	1	演習	○						

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンリアール	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				介護福祉士	備考
											1年次		2年次			
											前期	後期	前期	後期		
美・デザイン、医療事務コース専門科目	2	4	4	3	1	1	0	1	職業体験指導	1	演習	○				
	2	4	4	3	1	1	0	2	美体験海外研修Ⅰ	1	演習	○				
	2	4	4	3	1	1	0	3	美体験海外研修Ⅱ	1	演習	○				
	2	5	7	3	1	1	0	1	人のからだところの基礎	2	講義	○				
	2	5	7	3	1	2	0	1	社会保障と医療保険のしくみ	2	講義			○		
	2	5	1	4	1	1	0	3	人を支えるコミュニケーション	2	講義	○				
	2	5	1	4	1	2	0	3	くらしを支えるコミュニケーション	2	講義		○			
	2	5	1	4	1	2	0	4	地域を支えるコミュニケーション	2	講義			○		
	2	5	7	5	2	2	0	1	地域総合演習	2	演習			◎		
<u>卒業要件</u> (最低必要単位数)										専門科目		50				
										基礎科目		16				
										合計		66				
<u>介護福祉士取得要件</u> (最低必要単位数)										専門科目		73		卒業要件の専門科目50単位に加え、23単位の専門科目の取得が必要です。		
										基礎科目		16				
										合計		89				

1. 社会福祉主事任用資格を取得するには、卒業を前提とし、さらに次の科目の中から3科目以上を履修し、単位を修得しなければならない。
※ 介護福祉コースの学生のみ取得可能。

授業科目	備考
社会学	
法学	
経済学	
心理学	
社会保障論	
介護福祉論Ⅰ	介護福祉論Ⅰ及び介護福祉論Ⅱで1科目とみなす。
介護福祉論Ⅱ	

2. レクリエーション・インストラクター資格を取得するには、介護福祉士資格の取得を前提とし、さらに次の科目の単位を修得しなければならない。

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンリアール	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				備考	
											1年次		2年次			
											前期	後期	前期	後期		
資格	2	2	5	7	1	2	0	7	レクリエーション論	2	講義		○			
基礎	2	2	5	3	2	3	0	8	身体による表現活動(スポーツ実技)	1	実技	○	○	○	○	基礎科目の再掲

〈注〉上記のレクリエーション・インストラクターに関わる資格関連科目は卒業要件に含まれません。

3. 介護保険事務管理士（ケア・クラーク）の資格を取得するには、介護福祉士資格の取得を前提とし、さらに次の科目の単位を修得し、ケアクラーク技能認定試験に合格しなければならない。

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ンリアル	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				備考	
											1年次		2年次			
											前期	後期	前期	後期		
専門	2	2	5	7	1	2	0	9	介護保険事務管理論	2	講義				○	専門科目の再掲

4. 国試対策等講座科目

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ンリアル	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				備考	
											1年次		2年次			
											前期	後期	前期	後期		
専門	2	2	5	7	1	2	1	0	介護福祉士国家試験対策講座	2	講義				○	非卒業要件科目

5. 歯科助手資格（乙種第一・乙種第二）を取得するには、下の表にあるすべての科目を履修し、単位を修得しなければならない。

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ ンリアル	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				備考
											1年次		2年次		
											前期	後期	前期	後期	
基礎	3	1	2	2	1	1	0	情報活用論	2	講義	○				
専門	2	5	1	3	1	1	0	1	仕事とマナーⅠ	2	講義	○			
専門	2	5	1	4	1	1	0	2	仕事とマナーⅡ	2	講義		○		
専門	2	5	6	3	2	1	0	1	SNS活用論Ⅰ	2	講義	○			
専門	2	5	6	4	2	1	0	1	SNS活用論Ⅱ	2	講義		○		
専門	2	4	5	7	1	1	0	1	医療事務Ⅰ	2	講義	○			
専門	2	4	5	7	1	1	0	3	医療事務Ⅱ	2	講義		○		
専門	2	4	5	7	2	1	0	8	歯科助手実践の基礎	2	講義		○		
専門	2	4	5	7	3	1	0	1	歯科助手実習	1	実習		○		
専門	2	4	5	7	3	1	0	2	歯科助手実習指導	1	演習		○		
専門	2	5	1	4	1	1	0	3	人を支えるコミュニケーション	2	講義		○		

※歯科助手実習は、実習費が必要になります。

介護福祉コースで学習する科目の構成について

		1 年前期	1 年後期	2 年前期	2 年後期	
基礎科目		キリスト教概論	スポーツ科学論 身体による表現活動	介護の日本語 III	介護の日本語 IV	
		介護の日本語 I	介護の日本語 II	介護の日本語 III	介護の日本語 IV	
		介護学習の基礎 I	介護学習の基礎 II			
※基礎科目より16単位以上修得すること。						
人間と社会	人間の尊厳と自立	社会福祉の基礎			社会学	
	人間関係とコミュニケーション 社会の理解	人間関係とコミュニケーション			社会保障論	
		基礎ゼミナール	地域総合演習			
介護	介護の基本	介護福祉論 I	介護の基本 B	介護の基本 A	介護福祉論 II	
	介護コミュニケーション技術		介護コミュニケーション技術 I 介護コミュニケーション技術 II	介護の基本 D	介護の基本 C	
	生活支援技術	生活支援技術（介護） I	生活支援技術（介護） II 生活支援技術 B 生活支援技術 C	生活支援技術（介護） III 生活支援技術 A		
	介護過程	介護過程 I	介護過程 III			
	介護総合演習	介護過程 II				
	実習	介護総合演習 I	介護総合演習 II	介護総合演習 III	介護総合演習 IV	
		介護基礎実習	介護課程実習	介護総合実習		
		地域介護実習				
	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	発達と老化の理解 A	発達と老化の理解 B		
		認知症の理解		認知症の理解 A	認知症の理解 B	
障害の理解				障害の理解 A 障害の理解 B		
こころとからだのしくみ		心理学				
		こころとからだのしくみ A	こころとからだのしくみ B	こころとからだのしくみ C		
医療的ケア				医療的ケア A 医療的ケア B 医療的ケア B		
学科独自科目					○高齢者と住まい ○介護保険事務管理論 ○障がいがある子どもの生活支援 ○リラクゼーション・ケア II	
		○災害介護			○リラクゼーション・ケア I	
		○職業体験 I				
		○職業体験 II				
		○職業体験 III				

科目の前に印がないのは資格必修科目
 科目の前に○があるのは選択科目

美・デザインコース / 医療事務コースで学習する科目の構成について

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	
基礎科目	○キリスト教概論	ライフステージと法 スポーツ科学論 身体による表現活動			
	○基礎ゼミナール ※基礎科目より16単位以上修得すること。				
美・デザインコース 医療事務コース 専門科目	美の健康科学Ⅰ 美の表現活動Ⅰ（音楽・ダンス）	美の健康科学Ⅱ 美の表現活動Ⅱ（音楽・ダンス）	現代マネジメント研究 医療と法 映像プレゼンテーションⅠ	非言語コミュニケーション 映像プレゼンテーションⅡ	
	仕事とマナーⅠ	仕事とマナーⅡ	ビジネス表現スキルⅠ 言語コミュニケーションⅡ	ビジネス表現スキルⅡ	
	SNS活用論Ⅰ	SNS活用論Ⅱ	言語コミュニケーションⅠ		
	ネイルケアⅠ				
	ネイルケアⅡ				
		ブライダルマネジメントⅠ	ブライダルマネジメントⅡ	所作表現論	
	医療事務Ⅰ 医療事務演習Ⅰ	医療事務Ⅱ 医療事務演習Ⅱ	医療事務Ⅲ 医療事務演習Ⅲ		
			歯科医療事務Ⅰ 歯科医療事務演習Ⅰ	歯科医療事務Ⅱ 歯科医療事務演習Ⅱ	
		歯科助手実践の基礎 歯科助手実習 歯科助手実習指導			
	職業体験指導		○地域総合演習		
		美体験海外研修Ⅰ 美体験海外研修Ⅱ			
	人のからだどこの基礎	人を支えるコミュニケーション	くらしを支えるコミュニケーション	地域を支えるコミュニケーション 社会保障と医療保険のしくみ	
		人を支える援助技術の基礎Ⅰ			
	学科独自科目		災害介護		介護保険事務管理論 高齢者と住まい
				リラクゼーション・ケアⅠ	リラクゼーション・ケアⅡ
			職業体験Ⅰ		
			職業体験Ⅱ		
			職業体験Ⅲ		

科目の前に○があるのは必修科目